

GPA 制度による修学指導・助言について

GPA 制度

GPA とは Grade Point Average の略で、アメリカの大学で開発され、今日では世界基準の成績評価基準として定着しつつあります。日本の多くの大学においてもこの制度が導入され、学生はこの GPA を用いて各種の支援（留学生基準判定、成績優秀者表彰など）を受けることが可能となり、本学では、2009 年度から導入されています。

第一の目的は、評価基準に基づく厳格な成績評価を行い、その成績評価結果を学生に明確に示すことにあります。この制度は、日本の大学の国際的通用性を質的に確保する観点から、文部科学省も重要な施策として各大学に導入を推奨しています。

学生である皆さんにとってのメリットは、自分の学修努力が平均ポイントという形でわかりやすく、かつ厳格公正に評価されることでしょう。そのポイントを知ることで、自分の勉強方法の見直しに役立てましょう。また、大学側も学生のポイントを参考にして、学生の修学指導を効果的に行うことができます。

成績評価

科目ごとに GPA 制度による基準で下表のように成績評価が行われます。

合否	評価基準	「成績通知書」 評価表示	「成績証明書」 評価表示	G P (Grade Point)
合格 (単位修得)	100 点 ~ 90 点	秀	秀	4.0
	89 点 ~ 80 点	優	優	3.0
	79 点 ~ 70 点	良	良	2.0
	69 点 ~ 60 点	可	可	1.0
不合格	59 点 ~ 1 点	不可	表示 されません	0
	0 点	不×		0
	失格 (授業出席日数不足など)	失格		0

※評価基準 (点数) は、成績通知書に表示されません。

※「失格」科目の単位数も GPA のポイント計算の単位数に含まれます。

GPA の計算例

【計算式】
$$\text{GPA} = \frac{(\text{科目の単位数} \times \text{成績評価グレードポイント}) \text{の総和}}{\text{登録科目の総単位数 (不合格科目の単位を含む)}}$$

※全科目を 90 点以上で合格すれば、GPA は 4.00 (最高点)
全科目を 60 点 (単位取得最低点) で合格すれば、GPA は 1.00
全科目不可の場合 GPA は 0.00

【GPA ポイント計算例】

授業科目名	単位数	評価	ポイント数
ことばと日本文化	2 単位	優	2 単位 × 3.0 P = 6.0 P
歴史と国際情勢	2 単位	秀	2 単位 × 4.0 P = 8.0 P
人間と哲学	2 単位	優	2 単位 × 3.0 P = 6.0 P
英語 I	1 単位	良	1 単位 × 2.0 P = 2.0 P
ドイツ語 I	1 単位	可	1 単位 × 1.0 P = 1.0 P
健康の科学	2 単位	優	2 単位 × 3.0 P = 6.0 P
職業人入門	2 単位	優	2 単位 × 3.0 P = 6.0 P
経済学概論	2 単位	不可	2 単位 × 0 P = 0 P
経済史	2 単位	良	2 単位 × 2.0 P = 4.0 P
合計	16 単位		39.0 P

◎上記の科目を履修した学生の GPA は (平均グレードポイント) は、
 $39.0 P \div 16 \text{ 単位} = 2.44 P$ となります。 ※小数点第 3 位四捨五入

GPA 制度を活用した修学指導

本学では、各学期の学業成績が GPA 1.0 未満の学生に対して、担当教員より次学期履修登録までに個別面談を通じて、指導・助言をおこないます。

また、2 年次から 3 年次への進級に際しても、GPA 評価により、該当する学生に対して、担当教員が個別面談を実施します。その個別面談の結果を、進級判定に活用いたします。